

高田町境川堤さくらを愛する会 設立趣意書

桜は日本人が一番好む花の一つです。咲間は短いのですが、花は華麗で私たちの心を癒してくれます。古来から花見といえば桜が欠かせません。桜の花の下で、仲間が集まって酒を飲み料理を食し享樂する。日本の毎年の風物詩です。

桜の名所は日本のいたる所にあります。寺院・城・公園・川沿い等々。この近くにも新境川堤・犬山城・岐阜公園・寺尾千本桜・大垣公園・小倉公園等々たくさんあります。各自治体も桜を維持するためいろいろな対策を行っていますが、予算・管理の人手等多くの問題を抱えているのが現状のようです。

わが高田町にも境川の堤に140本余りの桜の木があります。花の咲く頃には多勢の人が訪れ堪能されます。この桜は昭和28年環境衛生モデル地区の指定を受け、境川浄化美化運動の一環として、昭和30年頃から300本のソメイヨシノが植えられたという事です。現在では140本余りしか残っていません。その140本の桜木にも老朽化がみられます。ソメイヨシノは60年くらいが寿命といわれていますがメンテナンスをすればもっと長持ちすると思われれます。弘前市では日本最古のソメイヨシノが現在でも美しい花を咲かせています。

老朽化の一因は地衣類（ウメノキコケ等）・材質腐朽病（ベッコウタケ等）・枯れ枝の放置・ひこばえ枝の放置・胴ふき枝の不剪定などが考えられます。実際に見て頂ければ分かると思いますが、コケ・サルノコシカケ・ひこばえ・胴ふき枝がそのまま放置されています。今までは町会が専門業者に頼み毎年病虫害予防の消毒・施肥・剪定などを行って頂いています。しかし時間的・予算の制限もあり細かい所まで手が届かないのが現状です。その手の届かない所を、できる範囲で支えて行くのが、この会の設立の趣旨です。この会が順調に行動することにより、老朽化が少しでも遅らせればと考えております。活動内容は以下の通りです。

- ・ 木の老化対策
- ・ 新植桜の育成
- ・ 挿し木による苗木づくり
- ・ 桜に関する知識・情報の収集
- ・ 町民の皆さんへの情報提供
- ・ 行政への働きかけ

我々は全くの素人集団ではありますが、毎年目標を立て実行していきます。美しい桜を維持していくためには、長い月日の努力が必要です。そのための先駆けになる様に努めてまいります。町民の皆さまが少しでも関心を持って頂き、桜が高田町の誇りなる事を願って止みません。

会員 小野木良和・船渡善和・御宿康紀（幹事）

令和元年11月1日

高田町境川堤のさくらを愛する会
会員一同 幹事 御宿康紀